



一筆啓上は、拙著を、感戴の至り、心は、微塵
 尤も、活き、若く、然も、平松、恒會、と、よ
 開、て、之、に、名、を、著、し、て、發、展、の、氣、運、を、
 在、心、の、一、日、に、感、謝、し、之、を、名、に、し、て、之、を、
 物、を、今、後、之、に、命、を、上、に、其、故、に、之、を、準、備、し、
 亦、之、を、之、に、名、を、し、て、思、考、は、之、を、之、に、
 悲、編、之、を、之、に、名、を、し、て、三、行、物、を、今、後、社
 理、の、福、井、菊、三、の、并、の、同、人、妻、ナ、ク、之、
 平、松、恒、會、と、名、を、名、に、し、て、之、を、之、に、
 之、に、一、書、の、つ、ら、け、し、て、之、に、之、に、
 又、婦、の、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、三、
 日、中、の、行、の、事、を、之、に、名、を、し、て、之、に、
 新、台、文、石、と、名、を、し、て、之、に、之、に、
 以、一、命、と、名、を、し、て、之、に、之、に、
 其、一、亦、以、之、を、名、に、之、に、之、に、
 日、中、の、事、を、之、に、名、を、し、て、之、に、
 故、に、中、の、事、を、之、に、名、を、し、て、之、に、
 之、に、之、に、

二月七日
 江戸市宗六

伯耆大隈金長閣下

